



学芸員 山中 敦子

生命の海科学館  
☎ 66♦1717

## 墨絵のような月の海

★まああるいまあるいままるい  
白い和紙に薄墨を落としたような美しい月のもよう。ウサギが餅をついているところだとか、餅ではなく薬草だとか、ウサギではなくヒキガエルだとかロバだとか：国や文化を超え、はるか昔から人は月を見て想像を巡らせてきました。

### ★「海」が描き出す月ウサギ

月と言えば一番なじみ深いのはやっぱりウサギですよ。でも、月を見て「どこがウサギがよくわからない」と思ったことのある人も少なくないのでは？  
そんな現実的なアナタ！中秋の名月にはぜひ満月を見上げてみてください。想像力が生み出すウサギは見えなくても、かわ

りに月の「海」が見えるはず。そう、月面の薄墨を落としたような暗い色の部分は、月の「海」なのです。

今からおよそ40億年前、地球と月に大量の隕石が降り注ぐ「重爆撃期」があったと考えられています。巨大隕石の衝突により月面にいくつもの大きな穴（クレーター）が開き、その底からしみ出たマグマが穴を満たしてできたのが月の海です。玄武岩という黒っぽい石に覆われ、表面が平らなので、双眼鏡で見るとまるで凧いだ海のようにです。

★今年の中秋の名月は9月12日  
名月にウサギを愛でもよし、すすきと萩を飾って月見団子をいただくもよし。満月が過ぎたら、欠けた月を望遠鏡でのぞいてみるのもおススメです。月は身近な宇宙の入口、きつと新しい発見がありますよ。



丸難 惑星探査機カッシーニが撮影した月。丸難黒っぽい部分が月の海。右上は「危難の海」、その左側に大きな「静かの海」、その右下に連なる「豊かの海」、中央に見える小さな海は「神酒の海」。

**がまごおり**

**若者サポートステーション**

高須 将弘  
☎ 67♦3201

今回は、がまごおり若者サポートステーションについて改めて紹介したいと思います。

◆どんなことをしているの？  
働くことについてさまざまな悩みを抱えている、15〜39歳くらいまでの皆さんが就労に向かえるようサポートしています。

◆具体的には？  
○キャリアアカウンセラー・臨床心理士による相談

一人ひとりにあわせた、次のステップへのための相談や、メンタル面での相談を実施し、次の一步をサポートします。

○ステップアップのためのプログラム  
コミュニケーションに慣れるためのワークや、実際に働いている人たちの講話や、面接の練習を実施しています。

○職場体験・職場見学  
実際の職場を見てみたり、体験してみても、働くことへの感覚を学びます。

○保護者向けの支援  
保護者の方対象の勉強会（第三者同士の親と子の集い）や、保護者の方の悩みや相談に応じています。

○訪問支援  
家から出ることがあまり無く、社会との接点が無い場合、こちらから出向き、情報の提供からします。まず、保護者の方にサポートステーションにお越しただき、現状の相談に応じます。卒業・中退後の進路が定まらない若者への訪問活動がメインとなっています。

◆誰でも利用できるの？  
働くことに悩んでいる若者とその保護者の方なら利用できます。

◆どうしたら利用できるの？  
若者サポートステーションにご連絡ください。直接お越しいただくか、お電話ください。ひとりで悩まずに、お気軽にご連絡ください。

【連絡先】  
☎ FAX 67♦3201  
<http://gyss.jp>